

組立手順書

株式会社 静科

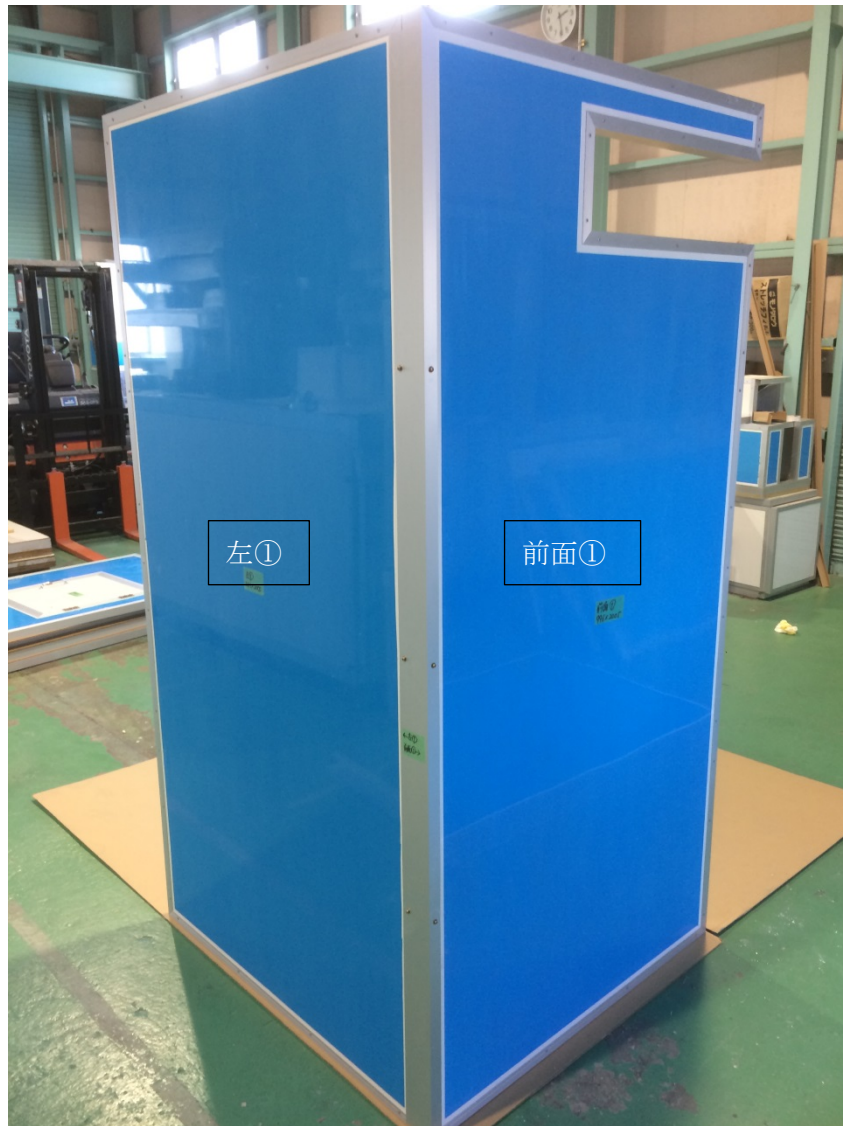
製造部 岩崎

2015/10/13

注意書き

- ・組み立て作業は二人以上で行ってください。
- ・吸音面（メッシュ面）がボックスの内側になるように設置して下さい。
- ・ビス留め用にプラスドライバー、天板設置用に脚立などをご用意下さい。
- ・パネル、繋ぎ材は貼ってある養生テープが読めるよう（上下が逆にならないよう）設置して下さい。
- ・設置が完了しましたら、青い保護シート、緑の養生テープは剥がして下さい。
- ・組み立てする上で何かご不明な点がございましたらご連絡下さい。

1. 左①、前面①パネルを角材で繋ぎ、ビス留めします。



2. 前面①、前面②を H 型（矢印位置 2箇所）で繋ぎ、ビス留めします。



3. 前面②、右①を角材で繋ぎ、ビス留めします。

内側から見た写真



4. 右①と右②をH型で繋ぎ、ビス留めします。



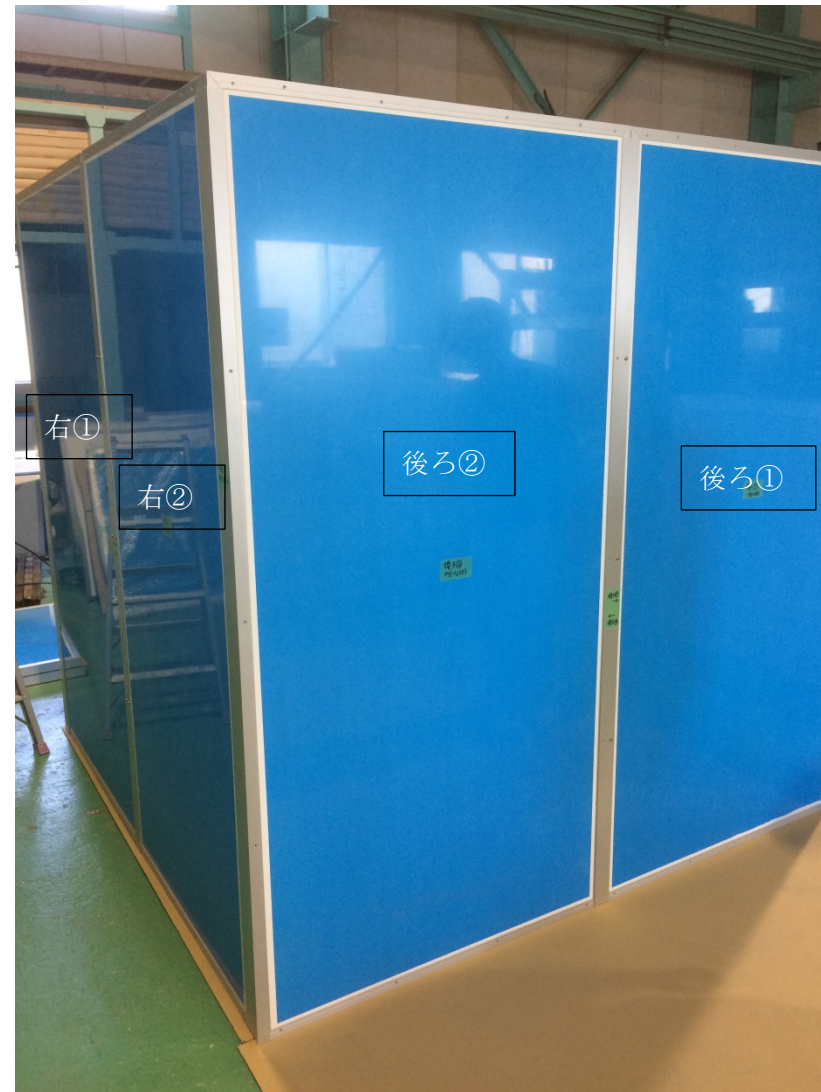
5. 左①と左②をH型で繋ぎ、ビス留めします。



6. 左②と後ろ①を角材で繋ぎ、ビス留めします。



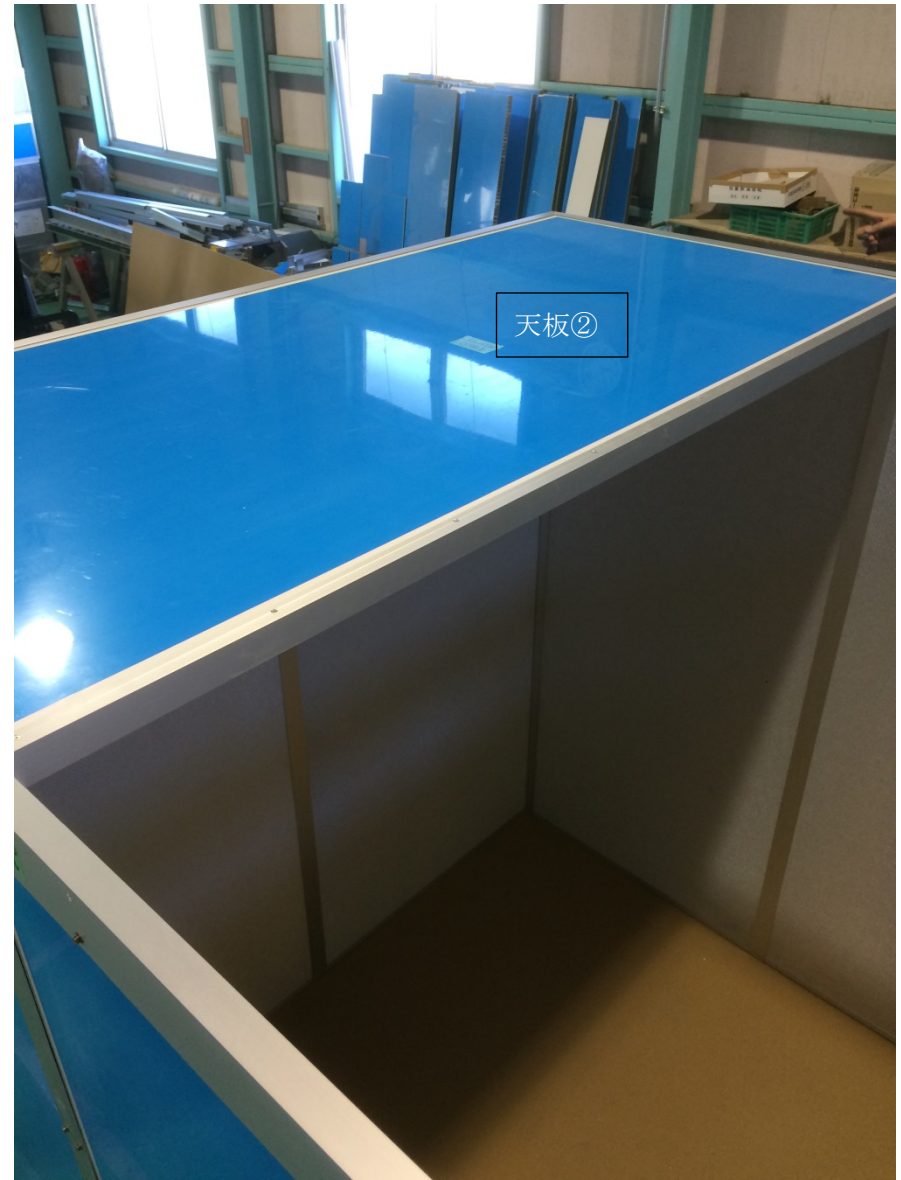
7. 後ろ①と後ろ②を H 型、右②と後ろ②を角材で繋ぎ、ビス留めします。
この際、右②と後ろ①を少しだけ外側に曲げ広げて、後ろ②をはめ込む
スペースを作るようにして下さい。



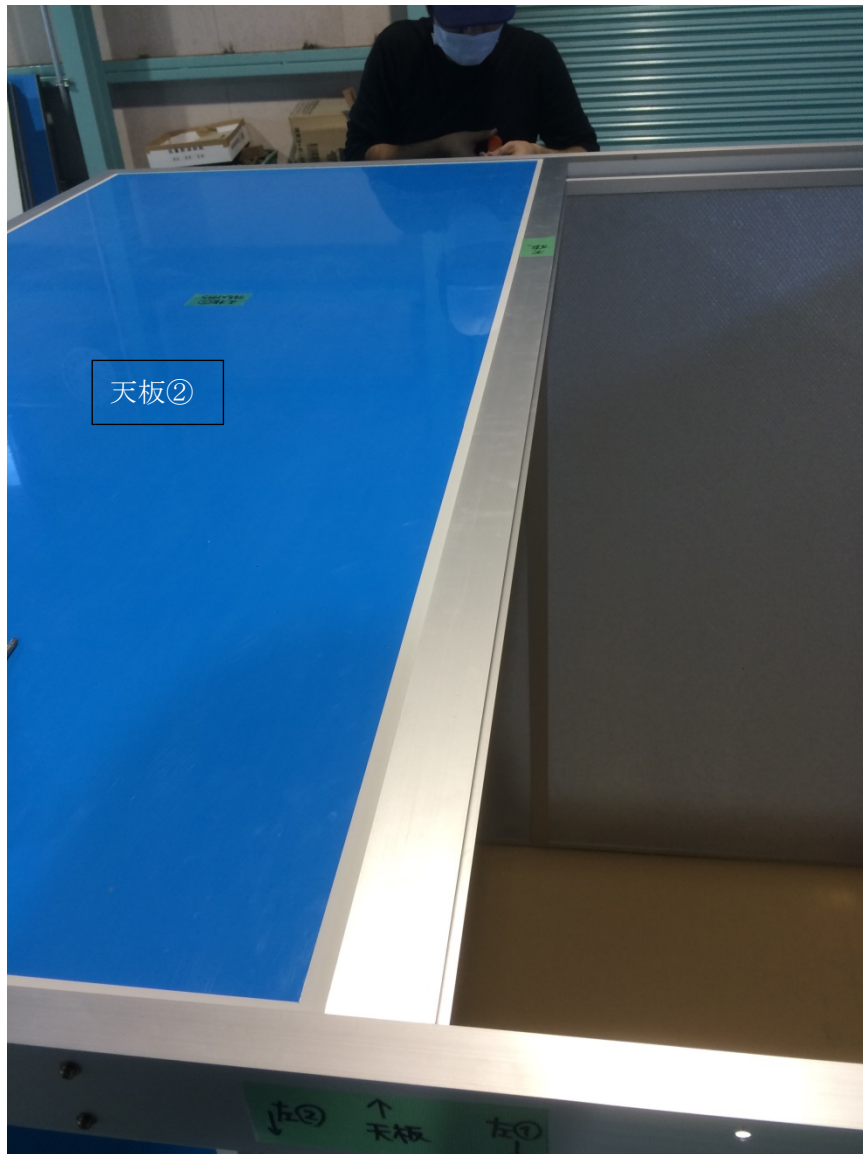
8. 右面、左面、後ろ面の3辺上部に、斜め切りした角材をはめ、ビス留めします。(前面の上部は右写真のように空けておきます)



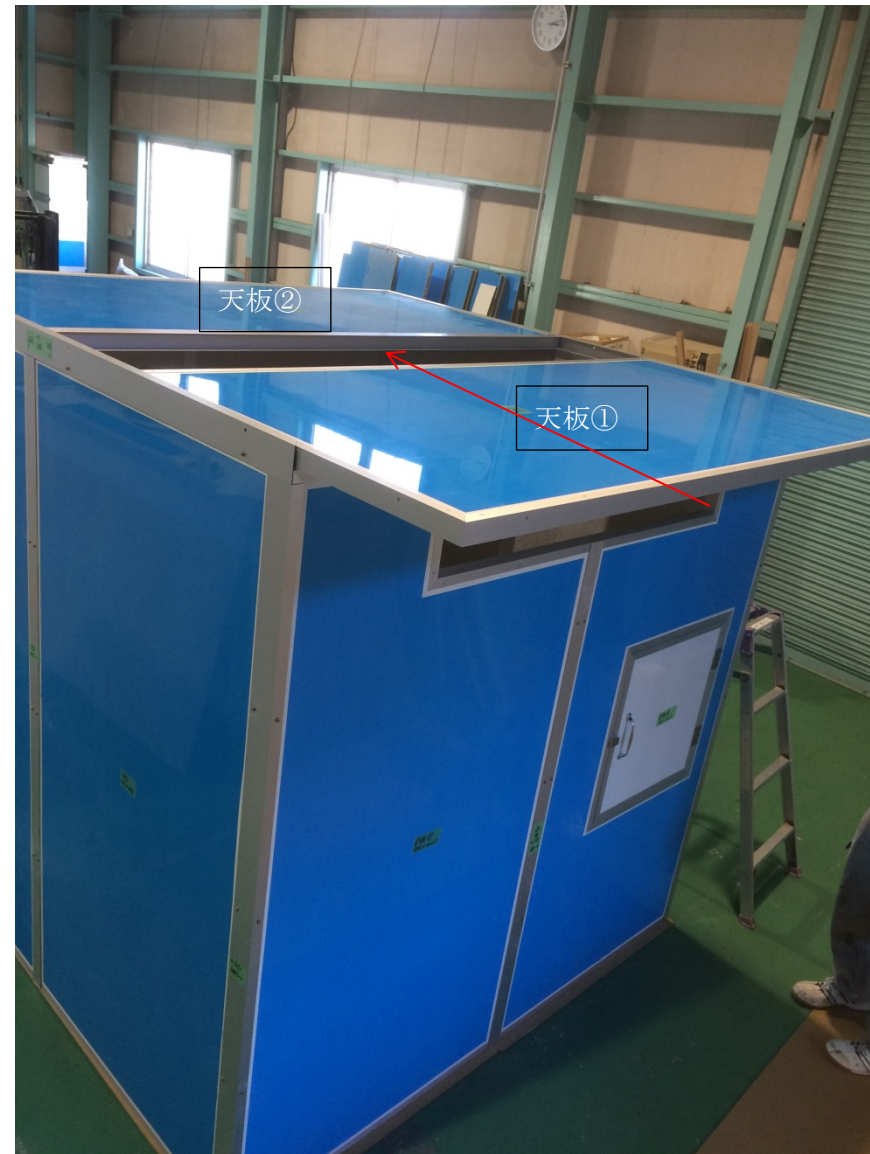
9. 天板②を写真のように前面上部からスライドさせるようにはめ込み、ビス留めします。(パネル向きはビス留めできる方が奥になります)



10. 天板②に H 型をはめます。



11. 天板①も同様にはめ込み、H 型を繋ぎ、ビス留めします。



1 2. 最後に F 型の角材を前面上部にはめ込み、ビス留めして完成です。

